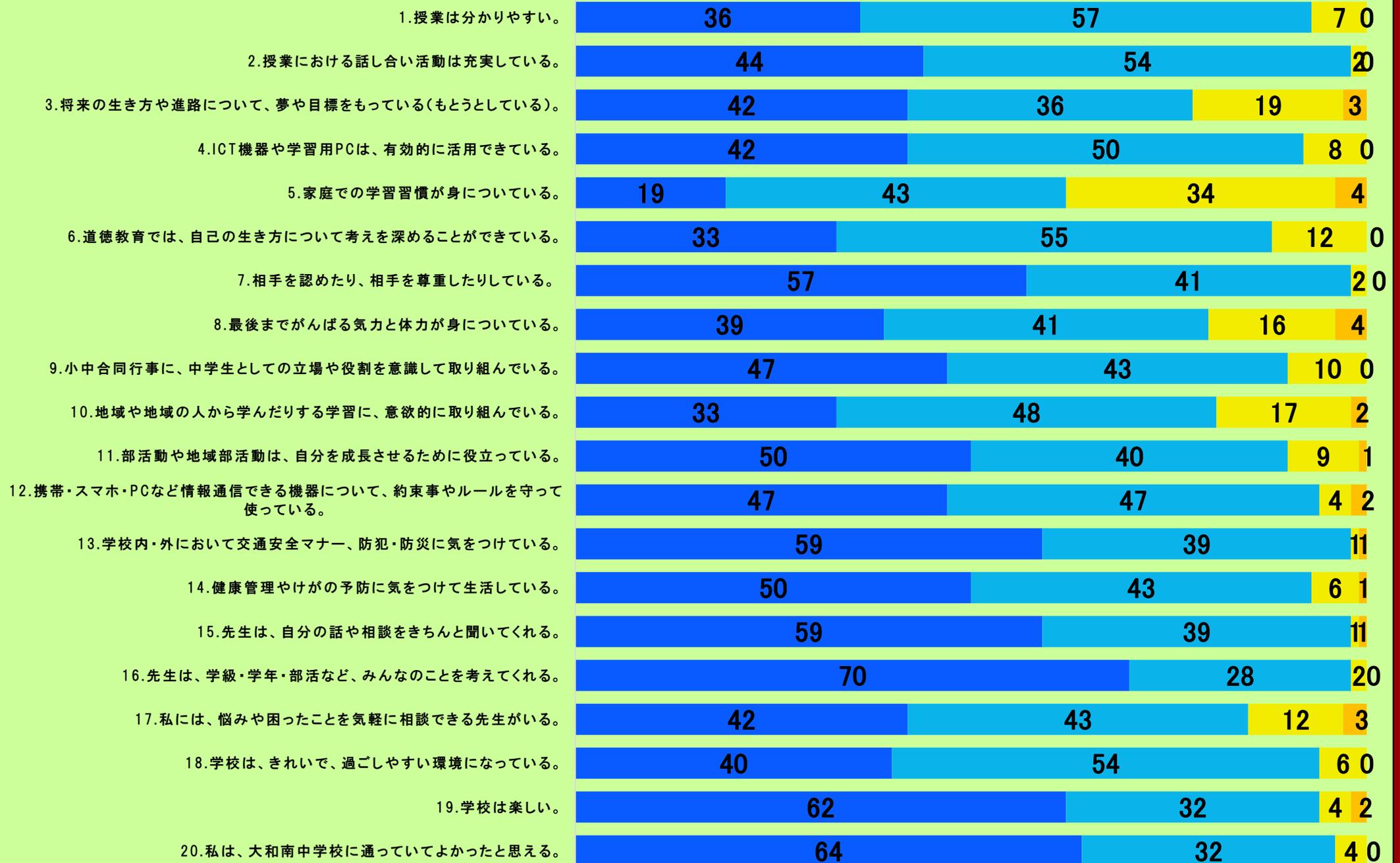


2025年度 学校評価 《生徒アンケート結果》

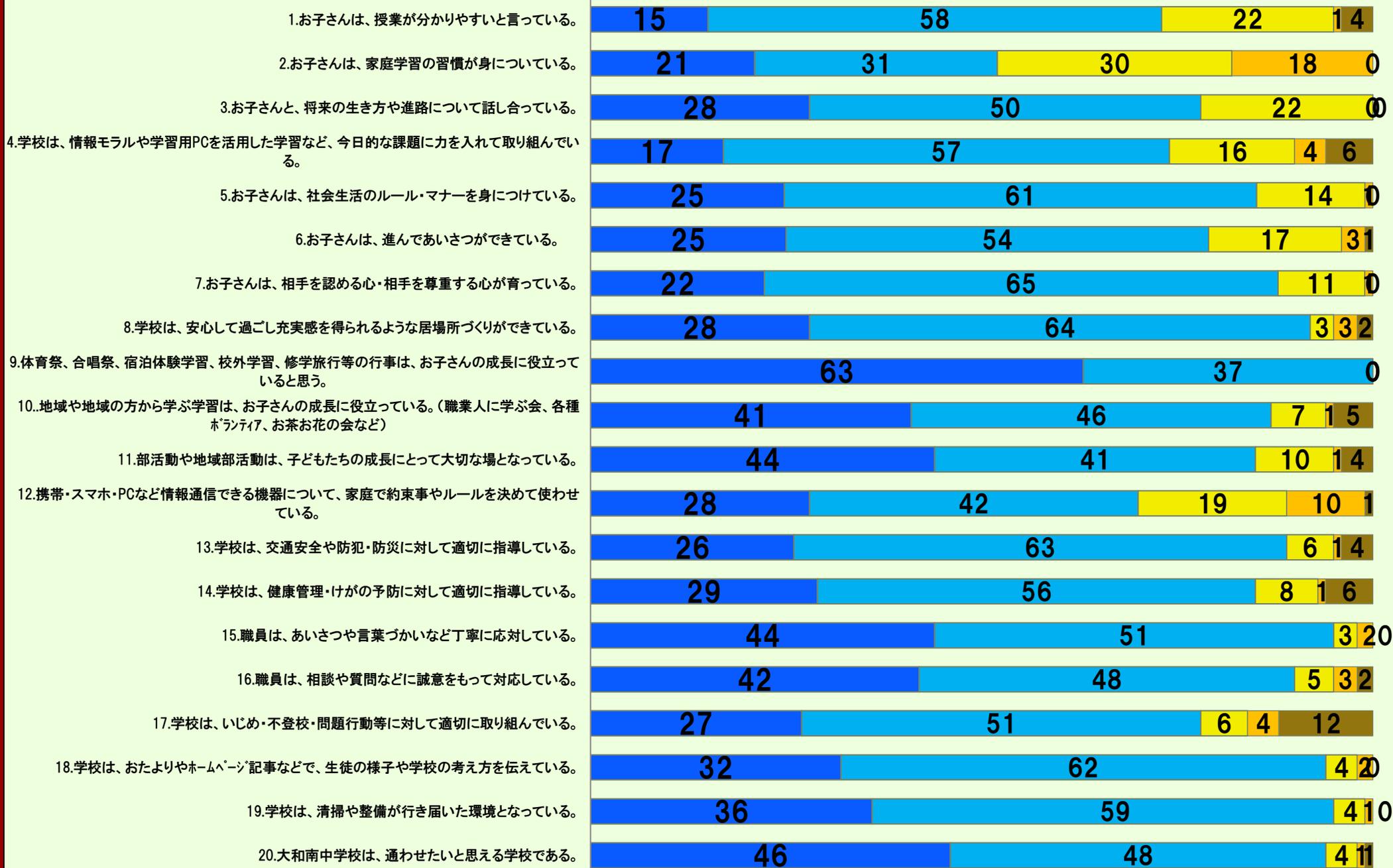
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない 単位



2025年度 学校評価

《保護者アンケート結果》

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない 単位(%)



◆◆◆ 学校評価のまとめと次年度へ向けて ◆◆◆

(1) 確かな学力の育成について

「3. 将来の生き方や進路について、夢や目標をもっている」の項目において、「あまり思わない」「思わない」と回答した生徒が22%であった。本校では、これまで進路行事が3年次に偏る傾向が見られたことから、次年度以降は3年間を見通した計画的なキャリア教育の推進が必要である。そのため、年間進路指導計画を見直し、2年次に「卒業生と語る会」や進路学習会等を位置付け、段階的に進路意識を高める取組を実施していく。

家庭学習に関する項目では、「あまり思わない」「思わない」と回答した割合が、生徒38%、保護者48%と、肯定的な評価が伸び悩んでいる。学習内容の定着を図るためには、家庭学習の充実が不可欠であり、学校として一層の工夫が求められる。今後は、各教科において課題提出のみで終わらせるのではなく、定期的な小テスト等を授業内で実施し、家庭において既習内容を繰り返し学習できるように、学校全体で共通理解を図りながら取組を進めていく。併せて、タブレット端末の日常的な持ち帰りを年度初めから実践し、家庭学習の質的向上を図っていきたい。

(2) 豊かな心の育成について

「8. 最後までがんばる気力と体力が身についている」の項目は、ここ数年、「そう思う」と回答した割合が他項目と比べて低い傾向にある。今年度も、心が不安定な生徒や自己肯定感の低い生徒が一定数見られた。この状況を踏まえ、今後も教職員が共通理解を図り、継続的で丁寧な声かけや見守りを行っていく。また、授業や学校行事を通して、一人一人が役割をもって活躍できる場を意図的に設定し、達成感や自己有用感を育むことで、自己肯定感の向上につなげていく。

(3) 健やかなからだの育成について

「11. 部活動や地域部活動は、子どもたちの成長にとって大切な場となっている」の項目において、保護者アンケートでは「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合の合計が85%となり、部活動や地域部活動が生徒の成長において重要な役割を果たしていると多くの保護者が捉えていることが分かる。来年の夏大会をもって、学校からの大会参加が終了することを踏まえ、来年度入学する新1年生を含め、在校生に対しても地域部活動への理解と参加を促すための周知を進めていく必要がある。併せて、学校における健やかなからだの育成を目指し、本校独自のクラブ活動や行事等の充実を図っていく。

(4) 信頼される学校づくりについて

「15. 先生は、自分の話や相談をきちんと聞いてくれる」の項目では、「そう思う」と回答した生徒の割合が59%となり、昨年度(66%)から減少している。この結果を重く受け止め、担任による面談だけでなく、学年職員、部活動顧問、スクールカウンセラー、心の教室相談員等が連携し、生徒が安心して相談できる体制づくりを学校全体で進めていく。また、生徒同士が安心して過ごせる学校環境の整備を進め、魅力ある学校づくりに努めていく。

保護者アンケート「17. 学校は、いじめ・不登校・問題行動等に対して適切に取り組んでいる」の項目において、「あまり思わない」「思わない」と回答した保護者が10%おり、昨年度より大きく

増加している。いじめや不登校等は極めて配慮を要する課題であることから、生徒および保護者との連携をより一層密にし、迅速かつ丁寧な対応を行うことで、全ての生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを推進していく。

大和南中学校区における一小一中の小規模校という特性を生かし、地域との関わりを大切にするとともに、小中連携の一層の強化を図っていく。可能な限り学校行事を推進し、学校と地域が連携・協働する「地域とともにある学校」への転換を進めることで、自校や地域に誇りと愛着をもち、主体的に生きる生徒の育成に努めていく。